

2, 「妊産婦の医療費助成ができないか。」を質問!!

女性の体は妊娠するとホルモンの分泌で身体的にも精神的にも大きく変化します。命がけの出産の前に様々な病気にかかる可能性もある一方、里帰り出産ができず上のお子さんを抱えての出産や、マタニティ用品、出産準備品などお金もかかることからお

母さんはストレスが多くなります。母体を守るためにも、病気になっても安心して出産に臨めるよう行政として万全な支援が必要不可欠であることを質問しました。

問

産前・出産・産後ケアについて、現状での妊産婦の困りごととは何か、調査把握はしているか？



答

母子手帳交付の際に保健師による面談とアンケートを実施し、妊婦の心身の健康状態、夫や家族など身近な人との関係、健康リスクや社会経済的リスクなど評価を行い把握している。

問

母体を守り出生率を上げることは人口減少社会、少子化対策、生産人口促進の上からも大事だが、子育て世代を当町に呼び込む施策は何か打っているのか？

答

地方創生総合戦略の基本目標3番目にふるさと軽井沢で子どもを産み育てる環境を掲げ、平成27年度から31年度までの5年間で合計特殊出生率を1.36に、累計出生数を623人にする目標。町では、不妊治療、妊娠、乳児一般健康診査や妊婦歯周病疾患検診、風疹ワクチン、療育医療費の助成。第1子からの出産祝い金、18歳までの医療費無償化、ひとり親家族への支援、多子世帯保育料補助、私立幼稚園振興補助、就学支援事業など実施している。



問

当町の子育て施策だけではまだ充分とは言えない。そこで妊娠から産後1年半までの妊産婦の医療費を助成できないか？



答

限られた財源の中で、いかに次世代を担う子どもの育成を進めていくかを念頭に、今後、福祉医療事業全体の見直しを進めていく中で、妊産婦の医療費についても検討課題として取り上げていく。

実質、無償化に!! になります!!

☆妊産婦の医療費については、平成30年4月1日から償還払い方式で実施されます。

(償還払いとは、一旦支払い申請後後から口座に振り込まれます、レセプト代500円は頂きます。)

☆0歳から18歳までの子ども医療費が現物給付方式に平成30年8月1日より実施されます。

(こちらは、窓口でお金を払わず帰って頂けます。)

さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

ごあいさつ

青い空、白い雲、さわやかな風の季節がやってまいりました。

みなさまいかがお過ごしでしょうか。私もおかげさまで、議会に、街頭遊説に、みなさまからの御要望にと忙しく走り回らせて頂いております。

この度、5月1日の改選で「議会運営委員会」、「総務常任委員会」、「広報広聴常任委員会」、「議会活性化特別委員会委員長」、一部事務組合では、「佐久市・軽井沢町清掃施設組合議会副議長」、「浅麓水道企業団議会」に就き、忙しい中にも

充実した日々を過ごさせて頂いております。

これも一重にみなさまのおかげでございます。心から感謝申し上げます。二期目も半分を折り返し、あと二年を切りました。任期満了のその日まで、しっかり頑張ってお参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



イラスト：斉藤暁雄

活動レポート



街頭遊説挑戦中です!!



浅間山砂防ダムの視察へ!!



軽井沢ハーフマラソンのボランティア給水係で!!



ピッコロの会の皆さんとトイレ掃除です!!

6月会議定例会での一般質問から

1、「歯科口腔ケア教育の現場へ 歯科衛生士の派遣はできないか。」を質問!!



「80歳で20本以上の歯があれば最高」と言われていますが、子どもの頃から正しい歯磨き習慣をしていれば自分の歯で生涯美味しく食べられます。本来、学齢期（小学生から18歳まで）を対象にしたいところですが、ポイントを絞って小学2年生から4年生の乳歯から永久歯へ生え替わる時期や中学の永久歯列の揃った時にいかに虫歯にしないか、について質問しました。

問い

小学2年生から4年生までの乳歯から永久歯にはえかわる時期の取り組みは？



答え

養護教諭を中心に健康な歯の必要性、大切さを教え、食育として咀嚼の大切さも含め虫歯予防の指導をしている。保護者を含め保健だより等指導、虫歯の多いお子さんには通知を出し受診を促している。

問い

永久歯が生え揃う中学生では隣接する歯が虫歯になりやすいが、何かケアはしているか？

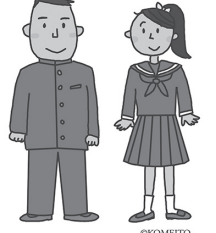


答え

養護教諭と生徒会保健委員会が保健週間に歯磨きの徹底チェックなどで虫歯予防に努めている。虫歯の多い生徒は受診を促している。

問い

中学1年生で虫歯にさせないことが大事だが、DMFT指数（1人当たりの虫歯の本数）の把握は？又目標数値を掲げているか？



答え

目標数値は掲げていない。指数の把握はしていないが、中学1年から3年までの虫歯保有率は60.8%。

問い

県の指数が0.7本・全国が0.8本に対し、軽井沢中学校は2.5本である。危機的な数値だが対策は？



イラスト：斉藤暁雄



答え

当町の子どもの虫歯の多さは統計上出ている。今後、養護教諭、学校歯科医、家庭の協力のもと、朝晩の歯磨き、規則的な生活を行うことで自分の歯を自分で大切にすれば、応えてくれることを重要な健康教育として推進したい。

問い

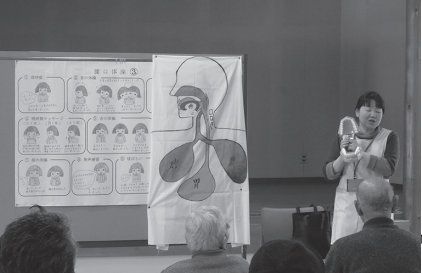
児童数が増加している学校もあるが、給食後の歯磨きの洗面環境は？

答え

洗面環境は把握していないが、現場を確認した上で検討する。

問い

歯科衛生士はプロとして、ブラッシング方法や唾液の出し方など細かく指導ができる。保健福祉課で契約している歯科衛生士を「学校」や「通いの場」へ派遣はできないか？



J A委託、老人センターでの口腔ケア指導の様子

答え

契約している歯科衛生士は多忙なため派遣ができない。

問い

県の歯科衛生士会小諸佐久支部からの派遣は可能か？



答え

「通いの場」への派遣は可能。講師登録を積極的に勧奨していきたい。学校では、まず小学校での虫歯調査や保護者への啓蒙強化をした上で、学校現場ともよく相談し、必要なら依頼も考える。

平成29年度 法律相談（上田会場）

<日 程> 9月9日（土）、11月11日（土）
<時 間> 午後13:00～15:30
<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター2階
<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで
* 公明新聞の御購読をお願いします。
（日刊1ヶ月1,887円、日曜版1ヶ月293円）
川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで

